

(1) 支所・行政サービスセンター拠点化推進 活動内容

1 地域等の概要



佐渡市は、平成16年3月に、両津、相川、佐和田、金井、新穂、畑野、真野、小木、羽茂、赤泊の10市町村が合併して誕生した。市役所本庁舎は金井地区にあり、ほかに3つの支所（両津、相川、羽茂）と6つの行政サービスセンター（佐和田、新穂、畑野、真野、小木、赤泊）がある。農業や漁業が盛んな地区、商業が中心の地区など、各地区で特色がありますが、どの地区も後継者不在、事業の縮小、廃止などの課題を抱えている。

2 現状と課題

佐渡市合併以降、人口は毎年約1千人ずつ減少し、経済の縮小にも歯止めがかからない状況。高齢者の割合が高くなる一方で出生数は減少しており、特に、大学のない本市では進学を機会に若年層の多くが流出し、それが過疎化や地域の衰退を招く一因となる状況が続いている。

現在まで、地域おこし協力隊や大学ゼミ等の外部人材を活用することで地域活性化策を講じてきましたが、伝統芸能の継承や集落運営が困難になるなど、地域コミュニティの弱体化が進んでいる。特に島周辺部の衰退を今一度見直し、地域の特色にあわせた再生への取組みを進める必要がある。

3 地域の将来像

高齢化社会においても各地域が主体性を持って地域づくりに取り組み、子どもからお年寄りまで安心して笑顔で暮らし続けることができる島、賑やかで元気な島づくりを目指す。

そのためには、多様な人材を活用しながら地域に出て、地域で話す体制整備を行い、地域の的確な情報収集、意見交換等による地域づくりの拠点として、市役所各支所・行政サービスセンターの機能を拡充していく。

4 協力隊に求める活動内容

市役所各支所・行政サービスセンターに1名ずつ協力隊を配置し、市職員と連携しながら、以下の活動を重点的に進めます。

- ① 地域に出向き、地域の的確な情報収集を行う

- ② 地域からの要望聞き取り、意見交換
- ③ 地域が主体となって行う地域づくり活動のサポート

5 主な年間活動計画

※活動開始時期：令和5年4月1日以降

1年目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区の現状把握 ・ 市職員と連携しながら、地域に出向き、地域の要望や意見の聞き取り ・ 地域の課題解決に向けた取り組み ・ 地域による主体的な地域づくり活動のサポート
2年目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市職員と連携しながら、地域に出向き、地域の要望や意見の聞き取り ・ 聞き取りをもとに、地域を元気にする取り組みを提案及び実施 ・ 地域の課題解決に向けた取り組み ・ 地域による主体的な地域づくり活動のサポート
3年目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市職員と連携しながら、地域に出向き、地域の要望や意見の聞き取り ・ 聞き取りをもとに、地域を元気にする取り組みを提案及び実施 ・ 地域の課題解決に向けた取り組み ・ 地域による主体的な地域づくり活動のサポート ・ 退任後の定住に向けた取り組み

6 地域の連携体制

活動地区の各支所・行政サービスセンターで、地域の意見や要望等の情報を共有しながら、活動をサポートする。

7 退任後の展望

各地域での起業や、佐渡市会計年度任用職員など、退任後も佐渡に定住していただけるように支援する。